

大阪経済の情勢

(2024年7月指標を中心に)

2024年9月
大阪府商工労働部
(大阪産業経済リサーチセンター)

「大阪経済は、持ち直しの動きに一服感がみられる」

需要面では、個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額、新車販売台数は増加。家計消費支出(近畿;6月)は増加。投資は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。住宅投資は減少、非居住用建設投資は増加。公共投資は減少。輸出は、持ち直しの動きに一服感がみられる。輸出額は増加。主要国向けでは、アジア向け・中国向け・ASEAN向けで増加。輸入額は増加。

供給面では、生産動向は、弱い動きとなっている。大阪府(6月)では、生産は低下、出荷は上昇。近畿の生産(6月)は低下。全国の生産(7月)は上昇。企業倒産では、件数、負債金額はともに悪化。雇用は、持ち直しの動きに一服感がみられる。近畿の失業率は改善。有効求人倍率は上昇、新規求人倍率は低下。所定外労働時間(6月)は上昇。

先行きでは、物価上昇等による経済への影響や、世界の経済・金融の動向について、引き続き注意が必要。

		需要							
		消費				投資		貿易・観光	
	総合 一致CI (大阪)	大型小売店 販売(大阪)	コンビニ 販売(近畿)	家電販売 (大阪)	新車販売 (大阪)	新設住宅着 工(大阪)	建築物着工 (大阪)	輸出 (近畿)	関空外国人 旅客
7月		▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲
6月	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲	▲

		供給				
		生産		倒産	雇用	
	生産指数 (大阪)	生産指数 (全国)	倒産件数* (大阪)	有効求人倍 率(大阪)	失業率* (近畿)	
7月	▲	▲	▲	▲	▲	
6月	▲	▲	▲	▲	▲	

*前年同月と比較し、上向き矢印は「景況改善」、下向き矢印は「景況悪化」。ただし、一致CI、生産指数、有効求人倍率は季節調整済みのため、前月との比較。失業率と倒産件数は、減少・低下が景況改善となり、上向き矢印となる。

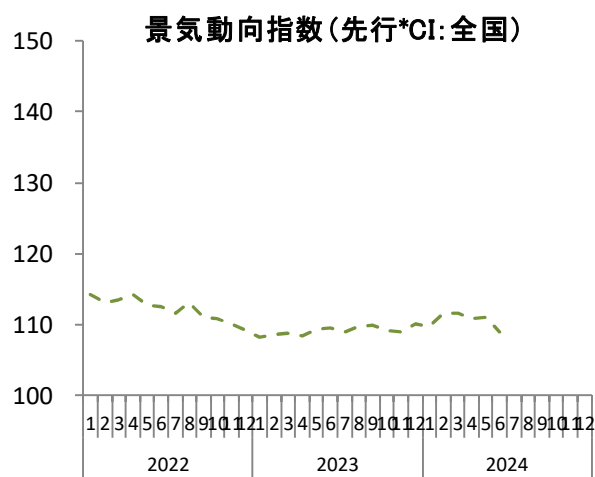
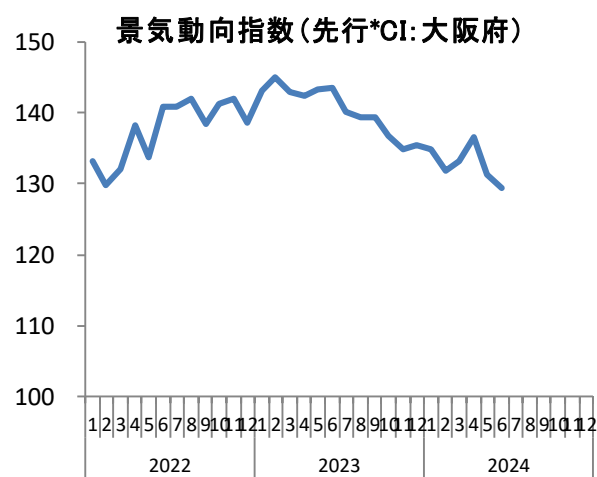
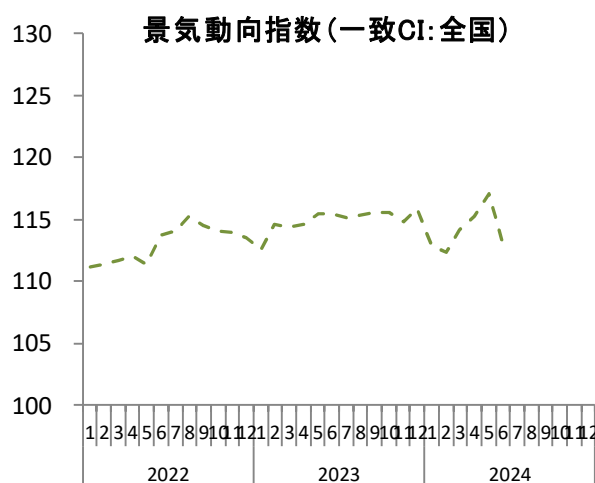
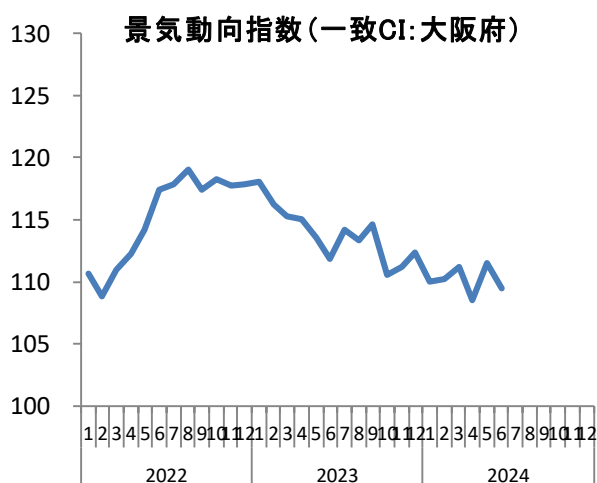
(参考)各機関の総括判断

	先々月(2024年7月公表分) (2024年5月指標中心)	先月(2024年8月公表分) (2024年6月指標中心)
大阪産業経済リサーチセンター「大阪経済の情勢」	大阪経済は、持ち直しの動きに一服感がみられる。	大阪経済は、持ち直しの動きに一服感がみられる。
内閣府「月例経済報告」	景気は、このところ足踏みもみられるが、緩やかに回復している。	景気は、一部に足踏みが残るものの、緩やかに回復している。
近畿経済産業局「近畿経済の動向」	近畿地域の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。	近畿地域の経済は、一部に弱い動きがみられるものの、緩やかに持ち直している。
日本銀行大阪支店「関西金融経済動向」	関西の景気は、一部に弱めの動きがみられるものの、緩やかに回復している。	—

※以下、Pは速報値を表す

[総合]

○景気動向指数(CI)【大阪府(6月)では、一致CI、先行CIはともに低下。大阪府(一致CI)では、主に「百貨店売場面積当たり販売額」「生産財出荷指数」が低下に寄与。全国(6月)の一致CI、先行CIはともに低下。】



(資料)大阪産業経済リサーチセンター「景気動向指数」、内閣府「景気動向指数」、大阪府、全国は2020年=100

* 先行CIは、3ヶ月から半年程度、景気に先行する指標で構成されている。

大阪府			
	24年5月	6月	7月
先行CI	131.3	P 129.5	
一致CI	111.5	P 109.5	

全国			
	24年5月	6月	7月
先行CI	111.1	109.0	
一致CI	117.1	113.2	

一致CIの個別系列の寄与度※(大阪府、6月速報)

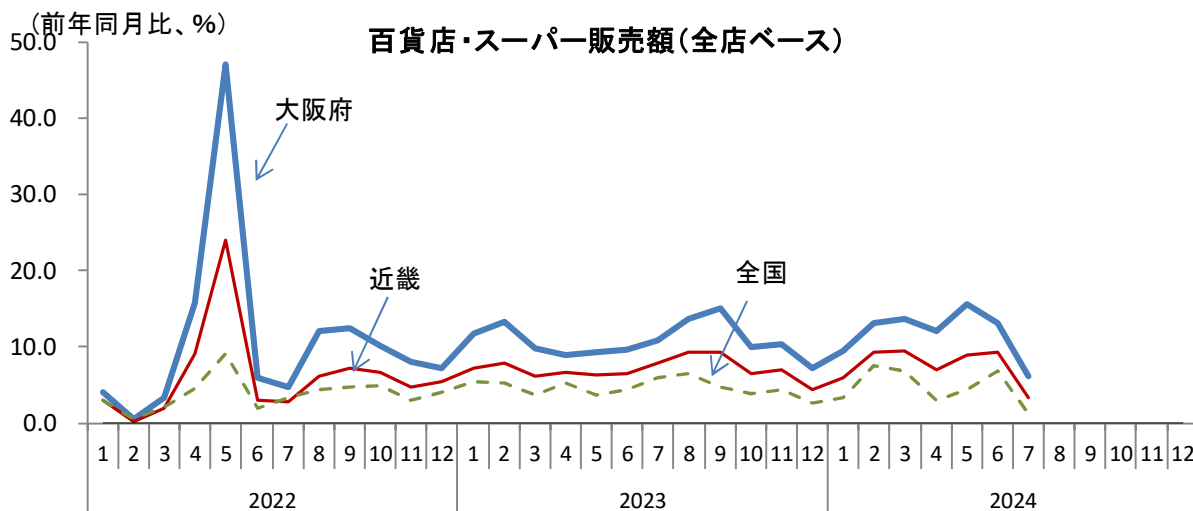
百貨店売場面積当たり販売額	大阪税関管内輸入通関額	製造工業生産指数	生産財出荷指数	人件費比率(製造業)	有効求人倍率	所定外労働時間指数(製造業)
▲0.70	0.35	▲0.28	▲0.41	▲0.26	▲0.31	▲0.37

※寄与度とは、CIの前月からの変化が、CIを合成する個別系列からどの程度もたらされたのかを示した数値。

[需要] 消費

個人消費は、持ち直している。百貨店・スーパー販売額、コンビニ販売額、家電販売額、新車販売台数は増加。家計消費支出(近畿;6月)は増加。

○百貨店・スーパー販売額(全店)【34ヶ月連続の増加。】



(資料)近畿経済産業局「百貨店・スーパー販売状況」、経済産業省「商業動態統計」

百貨店・スーパー販売額(全店)

		24年5月	6月	7月
販売額(億円)	大阪府	1,728	1,732	P 1,778
前年比(%)	大阪府	15.5	13.2	P 6.1
	近畿	8.9	9.2	P 3.4
	全国	4.4	6.9	P 1.3

百貨店販売額(全店)

		24年5月	6月	7月
前年比(%)	大阪府	29.2	21.5	P 10.8
	全国	13.7	13.5	P 5.1

スーパー販売額(全店)

		24年5月	6月	7月
前年比(%)	大阪府	1.3	3.9	P 0.8
	全国	1.2	4.4	P ▲0.1

○コンビニエンスストア販売額(全店)【8ヶ月連続の増加。】

		24年5月	6月	7月
販売額(億円)	大阪府	783	776	P 831
前年比(%)	大阪府	3.0	2.6	P 2.5
	近畿	2.0	2.1	P 1.5
	全国	1.3	1.6	P 0.7

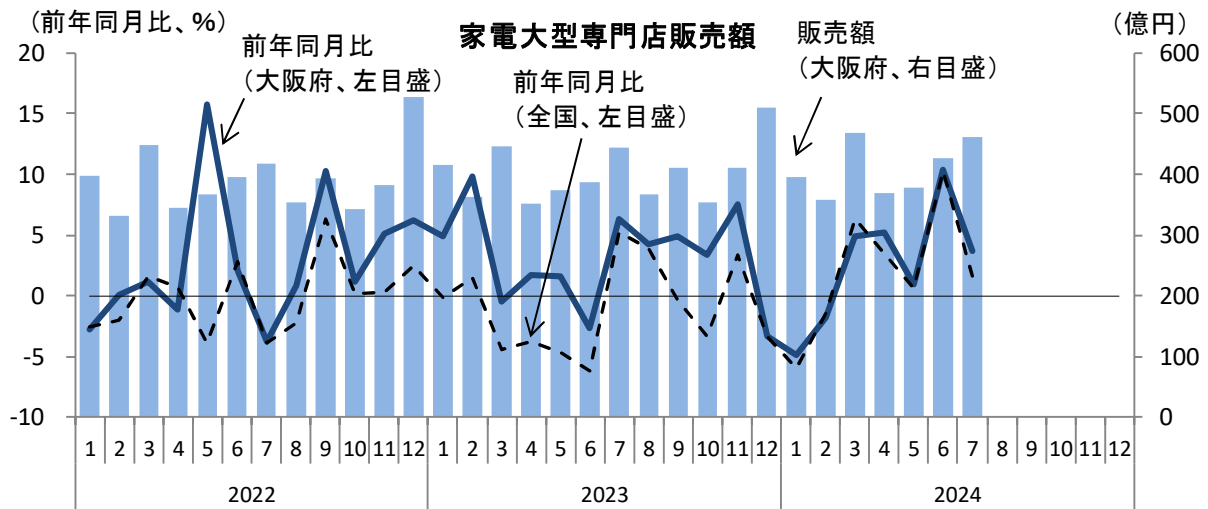
○家計消費支出【近畿(6月)は7ヶ月ぶりの増加。】

		24年5月	6月	7月
円	近畿	285,748	277,085	
前年比(%)	近畿	▲1.8	3.9	
	全国	1.4	1.9	

(資料)総務省統計局「家計調査」 ※二人以上世帯、一世帯当たりの名目。

[需要] 消費

○家電販売額【前年同月比で5ヶ月連続の増加。】



(資料) 経済産業省「商業動態統計」

家電大型専門店販売額(全店)

		24年5月	6月	7月
前年比 (%)	大阪府	1.0	10.4	P 3.7
	全国	0.6	10.3	P 1.6

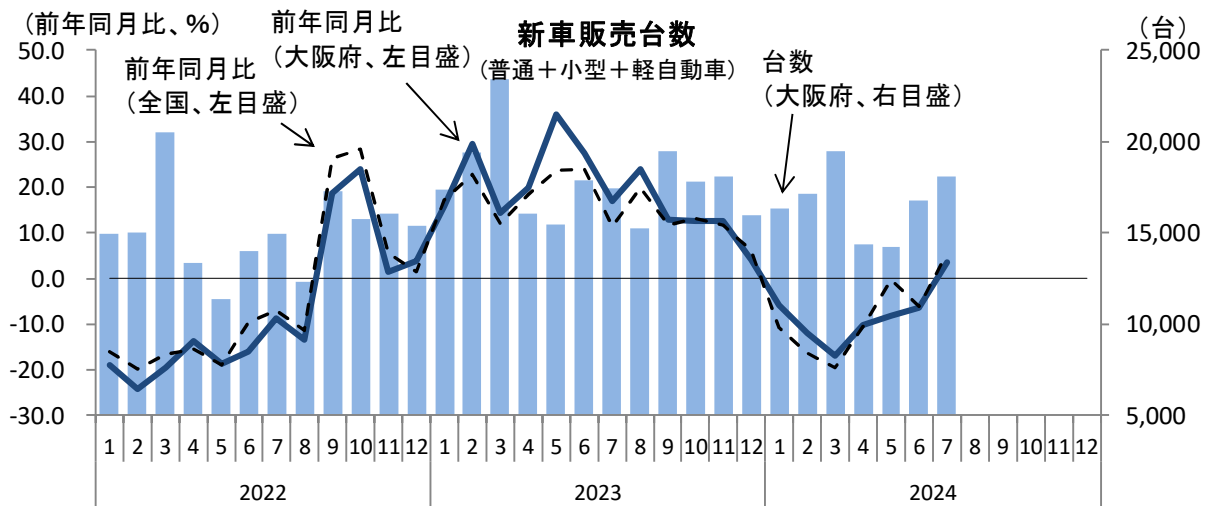
ドラッグストア販売額(全店)

		24年5月	6月	7月
前年比 (%)	大阪府	7.9	9.1	P 7.4
	全国	6.8	7.5	P 4.5

ホームセンター販売額(全店)

		24年5月	6月	7月
前年比 (%)	大阪府	2.2	6.3	P 2.1
	全国	1.0	4.6	P ▲1.5

○新車販売台数【前年同月比で7ヶ月ぶりの増加。】



(資料) (一社) 日本自動車販売協会連合会、(一社) 全国軽自動車協会連合会

		24年5月	6月	7月
販売額(台)	大阪府	14,237	16,790	18,100
前年比 (%)	大阪府	▲8.1	▲6.3	3.6
	全国	▲0.3	▲6.1	5.5

車種別の増減

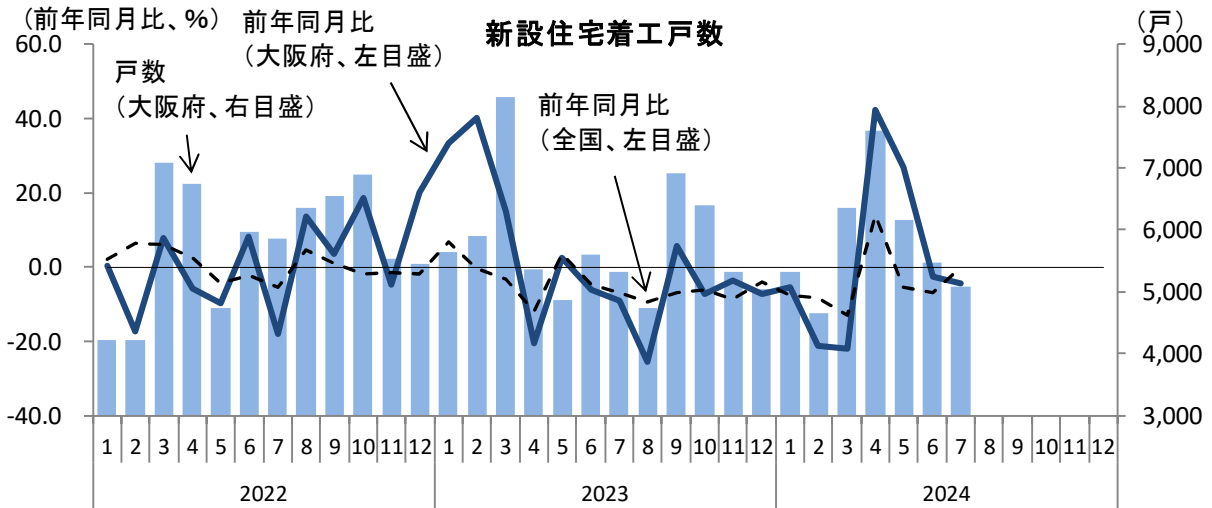
(大阪府、前年同月比(%)、7月)

普通車	小型車	軽自動車
1.2	3.5	9.3

[需要] 投資

投資は、持ち直しの動きに足踏みがみられる。住宅投資は減少、非居住用建設投資は増加。公共投資は減少。

○新設住宅着工戸数【前年同月比で2ヶ月連続の減少。】

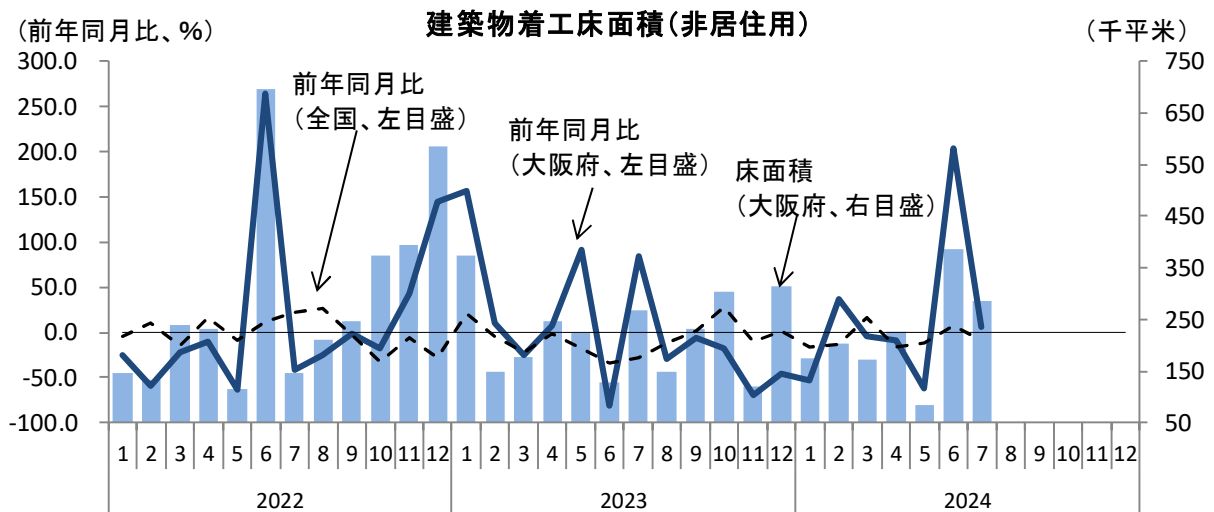


(資料)国土交通省「住宅着工統計」

		24年5月	6月	7月
戸数	大阪府	6,164	5,470	5,087
前年比 (%)	大阪府	26.7	▲2.4	▲4.3
	全国	▲5.3	▲6.7	▲0.2

利用者関係別の増減 (大阪府、前年同月比(%), 7月)		
持家	貸家	分譲
5.1	2.3	▲18.7

○建築物着工床面積(非居住用)【前年同月比で2ヶ月連続の増加。】



(資料)国土交通省「建築着工統計」

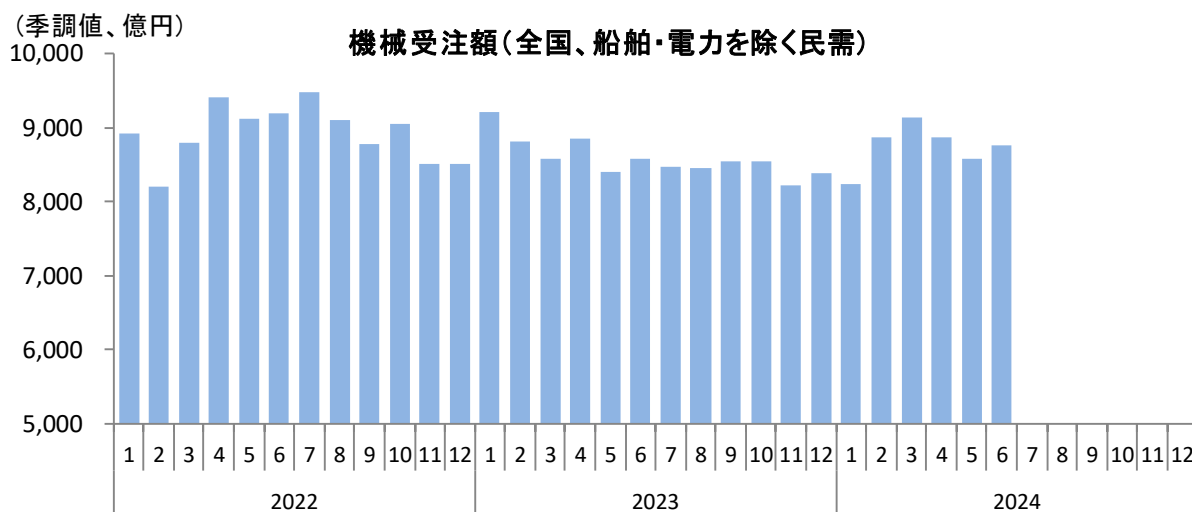
		24年5月	6月	7月
千 m ²	大阪府	85	386	285
前年比 (%)	大阪府	▲61.9	203.5	6.4
	全国	▲11.8	7.8	▲8.8

着工床面積の主な増減 (大阪府、前年同月比の寄与度※(%), 7月)	
増加	教育・学習支援業(10.7)、運輸業(10.3)
減少	製造業(▲16.7)

※寄与度とは、全体の増減率の要因として、各業種の増減がどの程度貢献しているのかを表す数値。

[需要] 投資

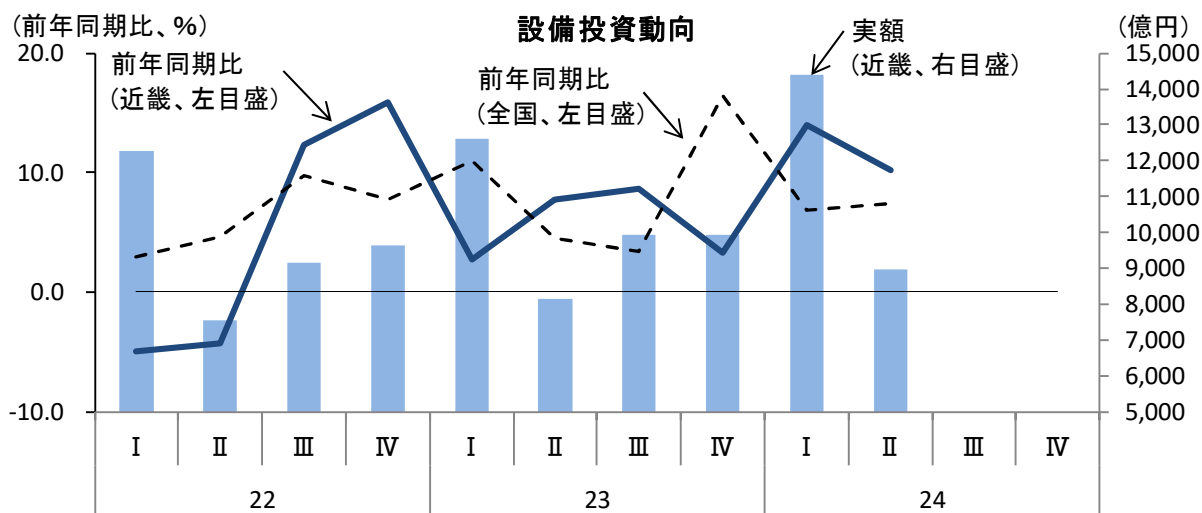
○機械受注額【6月(全国)は前月比で増加。】



(資料)内閣府「機械受注統計調査」

	24年5月	6月	7月
全国(億円)	8,578	8,761	

○設備投資動向【4~6月期(近畿)は前年同期比で8期連続の増加。「製造業」は減少、「非製造業」は増加。】



(資料)近畿財務局「法人企業統計」、財務省「法人企業統計」

※資本金10億円以上、全産業(金融・保険業を除く)。ソフトウェアを含む設備投資。

		23年10~12月	24年1~3月	4~6月
億円	近畿	9,935	14,377	8,976
前年同期比(%)	近畿	3.3	14.0	10.2
	全国	16.4	6.8	7.4

○公共工事請負金額【2ヶ月ぶりの減少。】

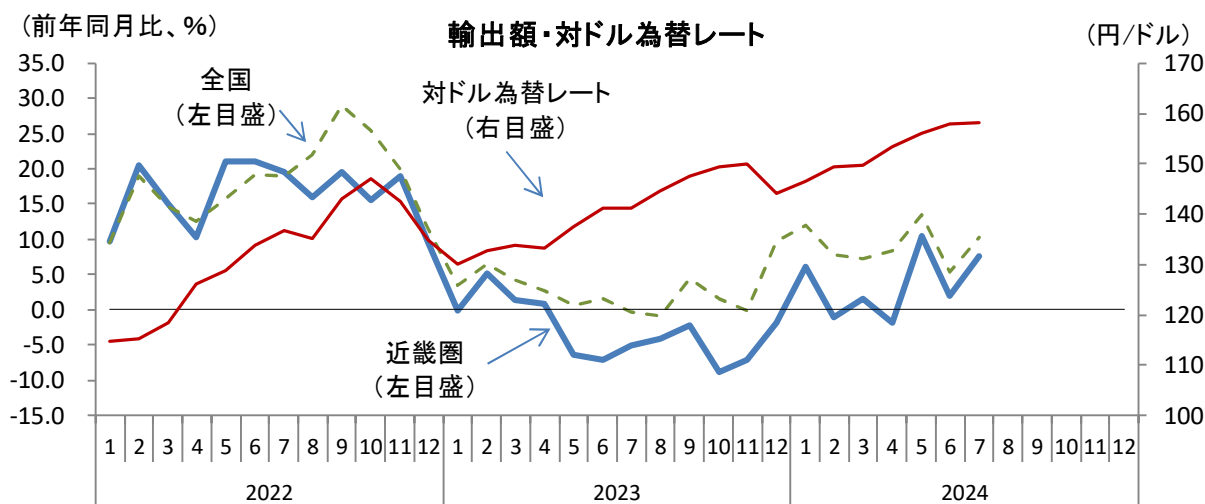
		24年5月	6月	7月
億円	大阪府	995	992	545
前年比(%)	大阪府	▲2.0	82.0	▲14.2
	全国	12.3	▲5.3	10.9

(資料)西日本建設業保証(株)、東日本建設業保証(株)、北海道建設業保証(株)

[需要] 貿易・観光

輸出は、持ち直しの動きに一服感がみられる。輸出額は増加。主要国向けでは、アジア向け・中国向け・ASEAN向けで増加。輸入額は増加。

○輸出額【3ヶ月連続の増加。「半導体等電子部品」、「鉄鋼」などが増加。主要国・地域向けでは、アジア向け・中国向け・ASEAN向けで増加。】



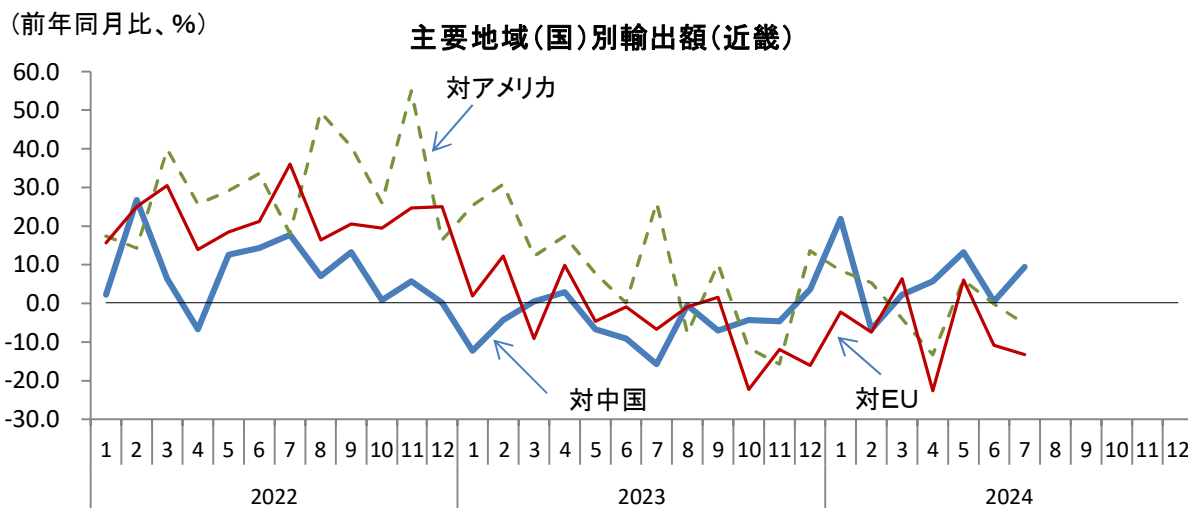
(資料)大阪税関「貿易統計」、日本銀行「時系列統計」

※対ドル為替レートは、東京インターバンク相場、ドル・円、スポット、中心相場/月中平均。

		24年5月	6月	7月
輸出額(億円)	近畿	17,309	18,440	P 18,987
前年比 (%)	近畿	10.4	2.0	P 7.7
	全国	13.5	5.4	P 10.3
為替レート(円/ドル)		156.13	157.82	158.06

品目別の主な増減
(近畿、前年同月からの増減額順、7月)

増加	半導体等電子部品、鉄鋼
減少	無機化合物、医薬品



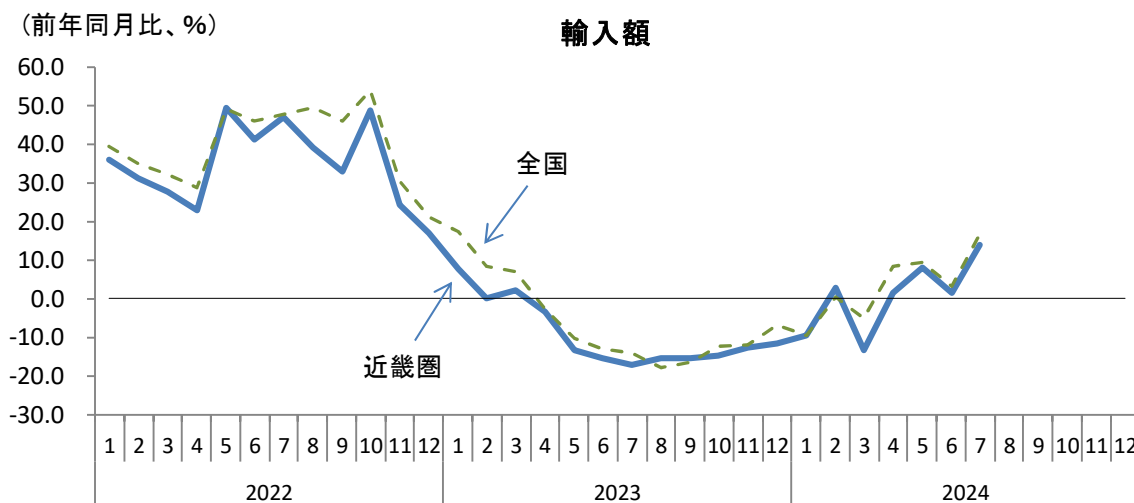
(資料)大阪税関「貿易統計」

主要地域別輸出額の増減(近畿、前年同月比(%))、7月)

アジア(含む中国)	12.4	5ヶ月連続の増加
中国	9.3	5ヶ月連続の増加
ASEAN	9.8	3ヶ月ぶりの増加
EU	▲13.5	2ヶ月連続の減少
アメリカ	▲5.5	2ヶ月連続の減少

[需要] 貿易・観光

○輸入額【4ヶ月連続の増加。「医薬品」、「天然ガス及び製造ガス」などが増加。】



(資料)大阪税関「貿易統計」

		24年5月	6月	7月
輸入額(億円)	近畿	16,223	P 15,535	P 17,876
前年比 (%)	近畿	8.2	P 1.5	P 13.8
	全国	9.5	P 3.2	P 16.6

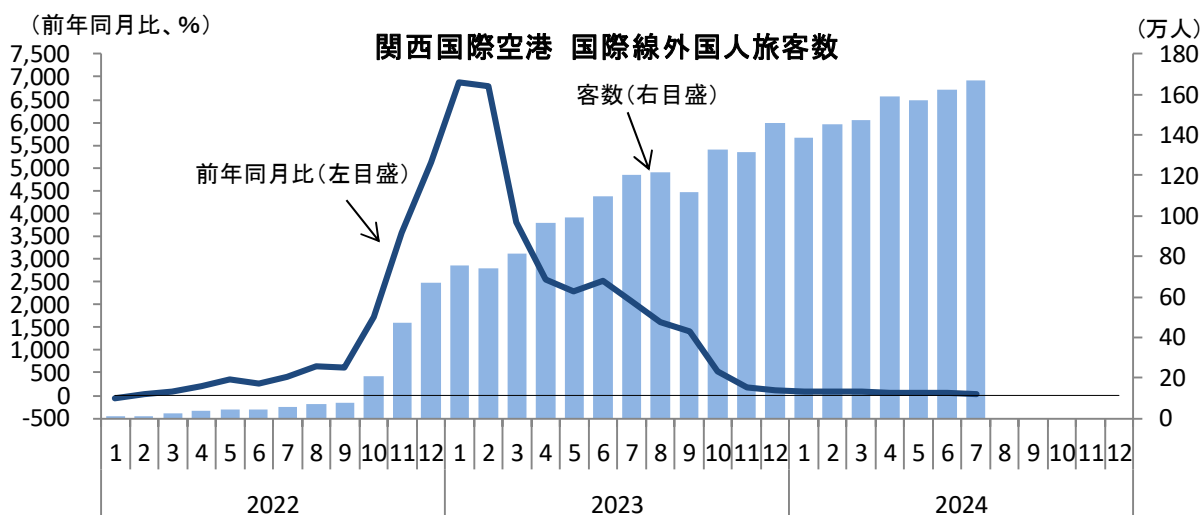
品目別の主な増減
(近畿、前年同月から増減額順、7月)

増加	医薬品、天然ガス及び製造ガス
減少	原油及び粗油、無機化合物

主要地域別輸入額の増減(近畿、前年同月比(%))、7月

アジア(含む中国)	14.2	2ヶ月ぶりの増加
中国	17.2	4ヶ月連続の増加
ASEAN	13.2	2ヶ月ぶりの増加
EU	26.1	3ヶ月連続の増加
アメリカ	15.2	4ヶ月連続の増加

○関西国際空港 国際線外国人旅客数【前年同月比で30ヶ月連続の増加。】



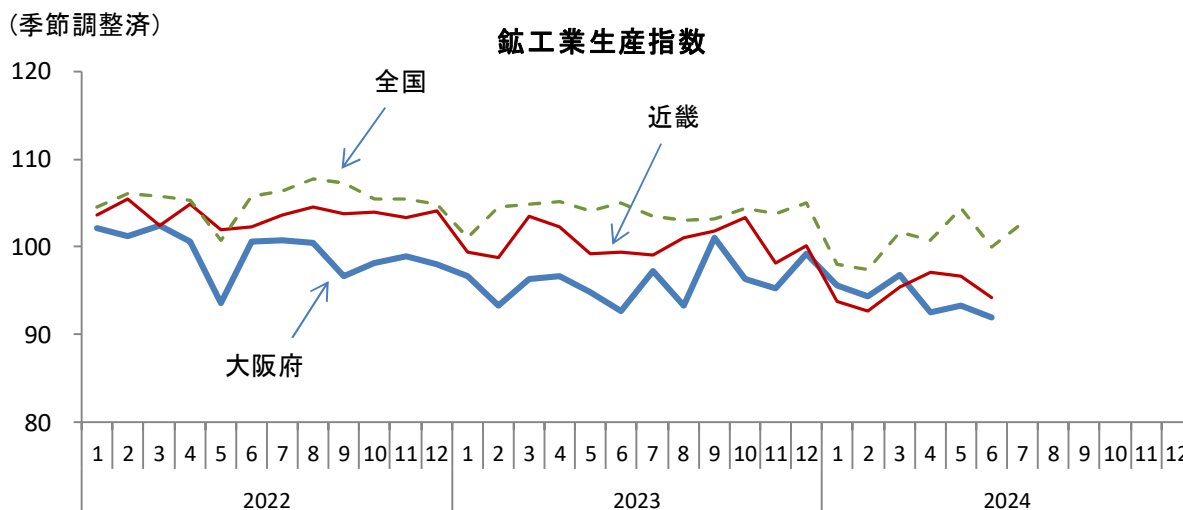
(資料)関西エアポート(株)

	24年5月	6月	7月
万人	157.5	P 162.3	P 167.1
前年比 (%)	58.8	P 47.7	P 38.5

[供給] 生産・企業活動

生産動向は、弱い動きとなっている。大阪府(6月)では、生産は低下、出荷は上昇。近畿の生産(6月)は低下。全国の生産(7月)は上昇。企業倒産では、件数、負債金額はともに悪化。

○**鉱工業生産指数【大阪府(6月)は2ヶ月ぶりの低下。「生産用機械工業」、「汎用・業務用機械工業」などが低下。近畿(6月、鉱工業)は2ヶ月連続の低下。全国(7月、鉱工業)は2ヶ月ぶりの上昇。】**



(資料)大阪府統計課「大府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
 ※大阪府は製造工業指数。2020年=100。

鉱工業生産指数

季調済	24年5月	6月	7月
大阪府	93.3	P 91.9	
近畿	96.6	94.3	
全国	104.4	100.0	P 102.8

鉱工業出荷指数

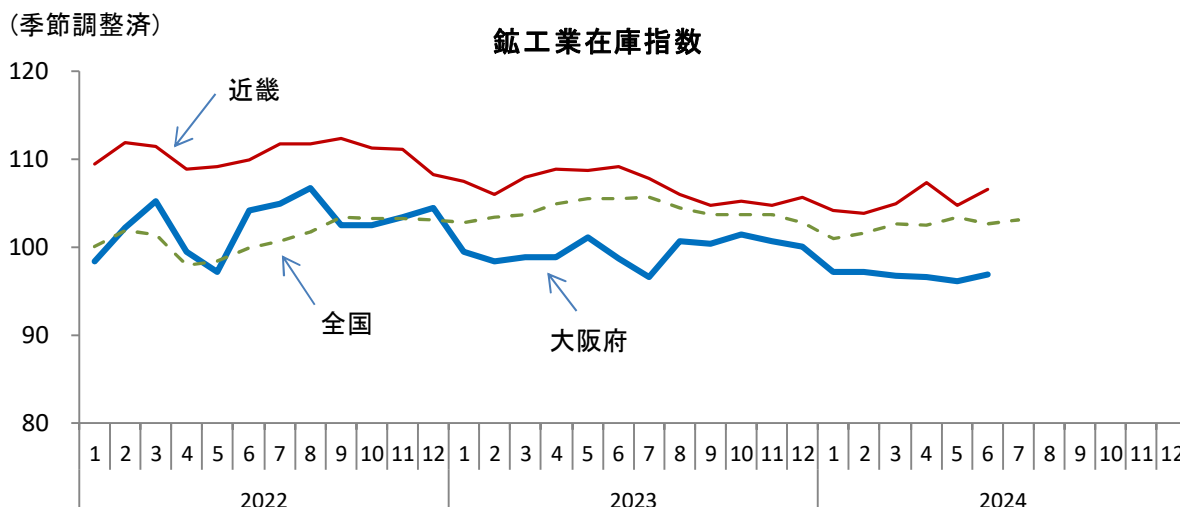
季調済	24年5月	6月	7月
大阪府	92.7	P 91.2	
近畿	96.6	92.2	
全国	103.9	99.0	P 101.4

生産指数における産業別の主な変動 (大阪府、前月比(%))、寄与度順、6月速報)

上昇	石油・石炭製品工業(19.8): ガソリン、軽油
	輸送機械工業(3.0): 鉄道車両部品、シャシー・車体部品
低下	食料品工業(1.0): チョコレート、食用油脂
	生産用機械工業(▲17.1): ショベル系掘削機械、装輪式トラクタ
	汎用・業務用機械工業(▲4.4): 軸受、ポンプ
	化学工業(▲2.3): 合成アセトン、ポリプロピレン

[供給] 生産・企業活動

○**鉱工業在庫指数【大阪府(6月)は8ヶ月ぶりの上昇。近畿(6月)は2ヶ月ぶりの上昇。全国(7月)は2ヶ月ぶりの上昇。】**



(資料)大阪府統計課「大阪府工業指数」、近畿経済産業局「鉱工業生産動向」、経済産業省「鉱工業指数」
 ※大阪府は製造工業指数。2020年=100。

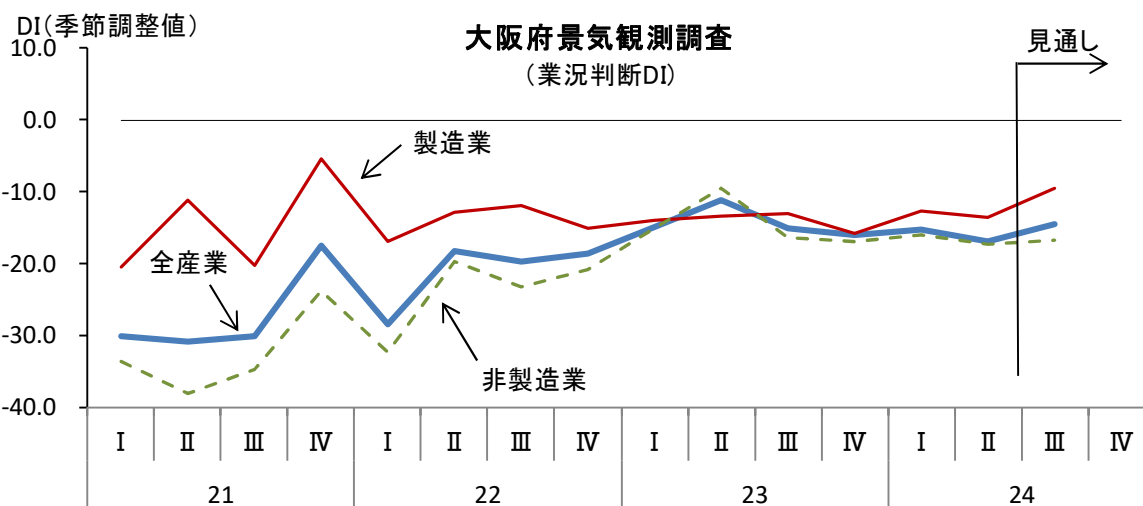
鉱工業在庫指数

季調済	24年5月	6月	7月
大阪府	96.1	P 96.8	
近畿	104.7	106.6	
全国	103.3	102.6	P 103.0

在庫指数における産業別の主な変動
 (大阪府、前月比(%)、寄与度順、6月速報)

上	生産用機械工業(11.3): 装輪式トラクタ
昇	鉄鋼・非鉄金属工業(1.8): 鋼半製品、鉄鋼切断品
低	化学工業(▲8.3): ビスフェノール A、フェノール
下	汎用・業務用機械工業(▲1.0): 分析機器、軸受

○**企業の業況判断【4~6月期(全産業)は2期ぶりの悪化。】**

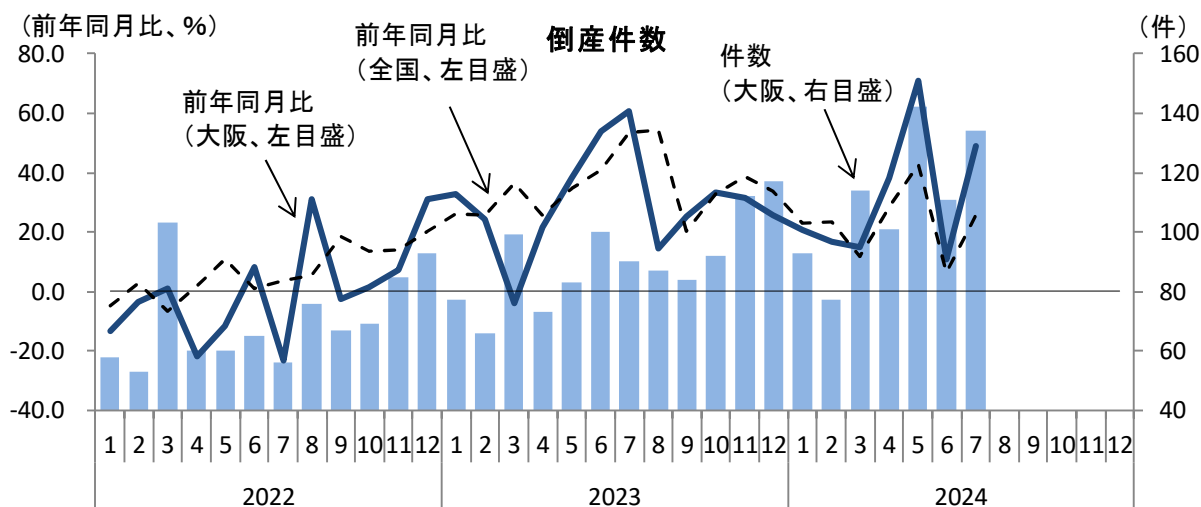


(資料)大阪産業経済リサーチセンター「大阪府景気観測調査」

季調済	23年10~12月	24年1~3月	4~6月	7~9月 (見込み)
製造業	▲15.9	▲12.7	▲13.7	▲9.5
非製造業	▲17.0	▲16.1	▲17.4	▲16.8
全産業	▲16.1	▲15.3	▲17.0	▲14.5

[供給] 生産・企業活動

○企業倒産【倒産件数は前年同月比で 16 ヶ月連続の増加(悪化)、負債金額は前年同月比で 5 ヶ月連続の増加(悪化)。】



(資料)東京商工リサーチ「倒産月報」

倒産件数

		24年5月	6月	7月
件	大阪府	142	111	134
前年比 (%)	大阪府	71.0	11.0	48.8
	全国	42.9	6.4	25.7

負債金額

		24年5月	6月	7月
億円	大阪府	155	195	186
前年比 (%)	大阪府	99.0	184.8	208.0
	全国	▲50.9	▲27.2	381.8

主要業種の倒産件数(大阪府)

	24年5月	6月	7月
建設業	31	19	27
製造業	18	8	15
卸売業	11	14	12
小売業	16	13	10
サービス業他	62	46	54

主な倒産(大阪府、7月)

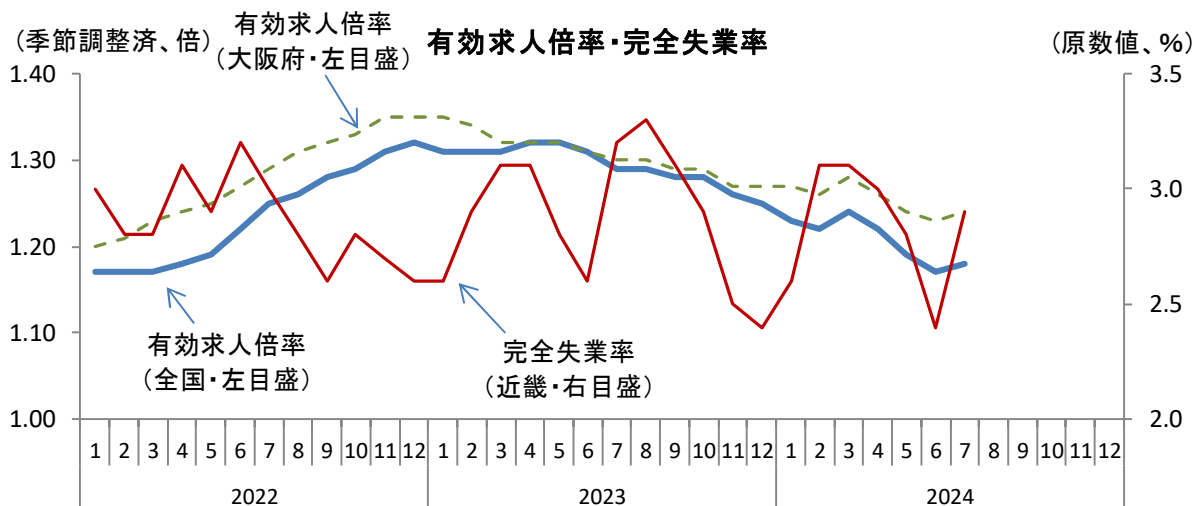
業種	負債額 (百万円)	倒産原因
事業資金貸付ほか	5,800	他社倒産の余波
紳士服・婦人服製造販売	3,700	販売不振
化粧品卸	1,000	販売不振
清掃業ほか	800	販売不振
三輪車ほか子供用玩具製造販売	750	販売不振
不動産売買ほか	600	既往のシワ寄せ
不動産仲介ほか	500	既往のシワ寄せ

[供給] 雇用

雇用は、持ち直しの動きに一服感がみられる。近畿の失業率は改善。有効求人倍率は上昇、新規求人倍率は低下。所定外労働時間(6月)は上昇。

○完全失業率【近畿は前年同月比で2ヶ月連続の改善】

有効求人倍率【大阪は4ヶ月ぶりの上昇】、新規求人倍率【大阪は2ヶ月ぶりの低下】



(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」、総務省統計局「労働力調査」 ※有効求人倍率はパートを含む。

完全失業率(近畿、原数値)

	24年5月	6月	7月
%	2.8	2.4	2.9
前年同月差	0.0	▲0.2	▲0.3

完全失業率(全国、季節調整値)

	24年5月	6月	7月
%	2.6	2.5	2.7
前月差	0.0	▲0.1	0.2

大阪府、近畿及び全国の完全失業率(原数値、%)

	23年10~12月	24年1~3月	4~6月
大阪府	2.6	3.3	3.2
近畿	2.6	2.9	2.7
全国	2.4	2.5	2.7

(資料)大阪府統計課「大阪の就業状況」、総務省統計局「労働力調査」

有効求人倍率(季節調整値、倍)

	24年5月	6月	7月
大阪府	1.19	1.17	1.18
全国	1.24	1.23	1.24

新規求人倍率(季節調整値、倍)

	24年5月	6月	7月
大阪府	2.44	2.56	2.55
全国	2.16	2.26	2.22

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」 ※パートを含む。

新規求人数の主要産業別の増減
(大阪府、前年同月比(%))

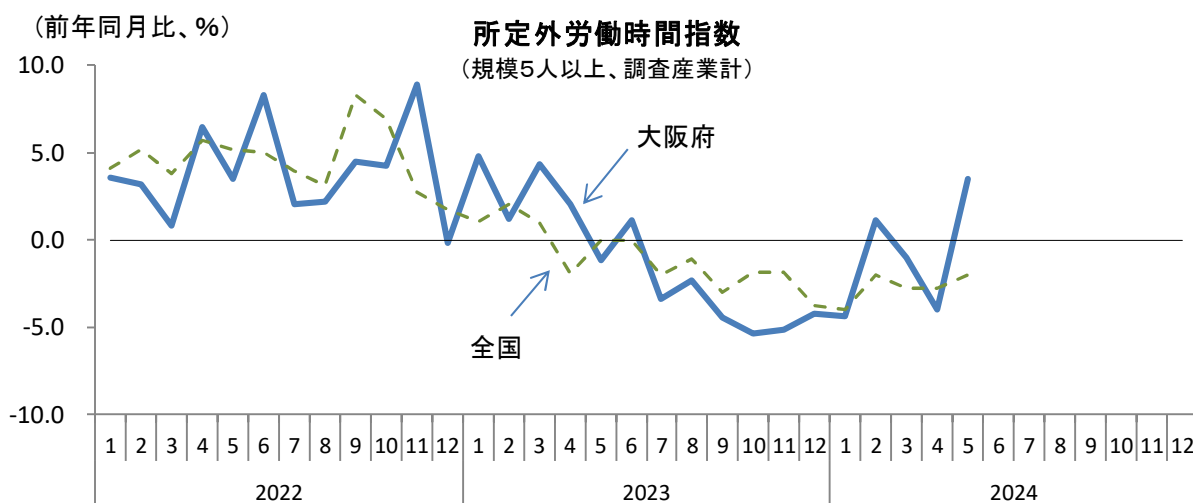
	24年5月	6月	7月
産業計	▲6.9	▲13.5	▲2.3
建設業	▲20.0	▲30.5	▲10.7
製造業	▲14.7	▲18.1	▲5.7
卸売業、小売業	▲15.6	▲18.4	▲9.4
宿泊業、 飲食サービス業	24.3	1.8	▲11.6
医療、福祉	▲5.1	▲11.3	5.7

(資料)大阪労働局「大阪労働市場ニュース」

※新規求人数の増減は原数値での比較

[供給] 雇用

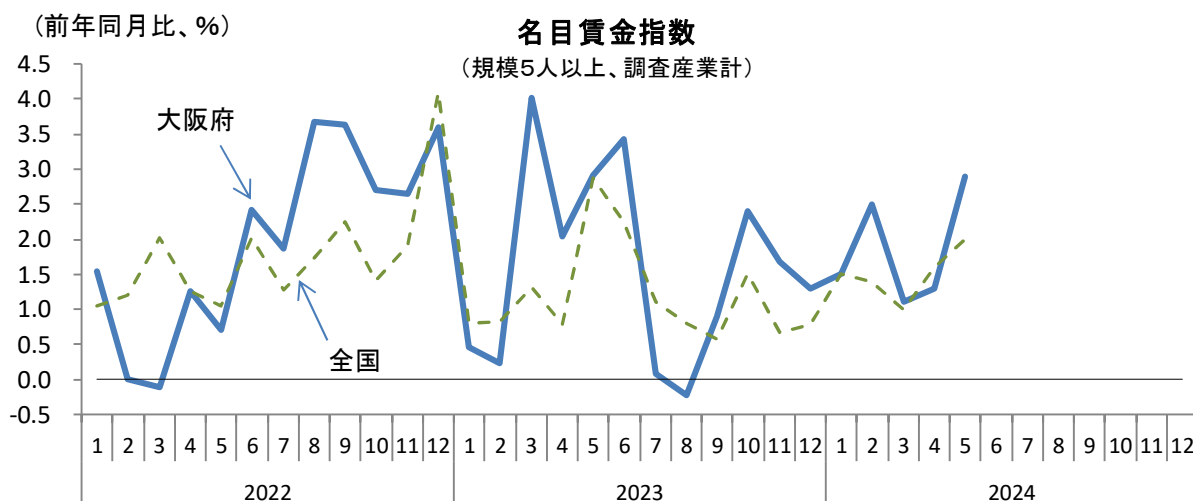
○所定外労働時間指数【大阪府(6月)は2ヶ月連続の上昇。】



(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
※事業所規模5人以上、前年同月比は労働時間指数(2020年=100)による。

		24年5月	6月	7月
指数	大阪府	107.1	110.6	
前年比 (%)	大阪府	3.5	1.1	
	全国	▲2.0	▲2.9	

○名目賃金指数【大阪府(6月)は10ヶ月連続の上昇。】

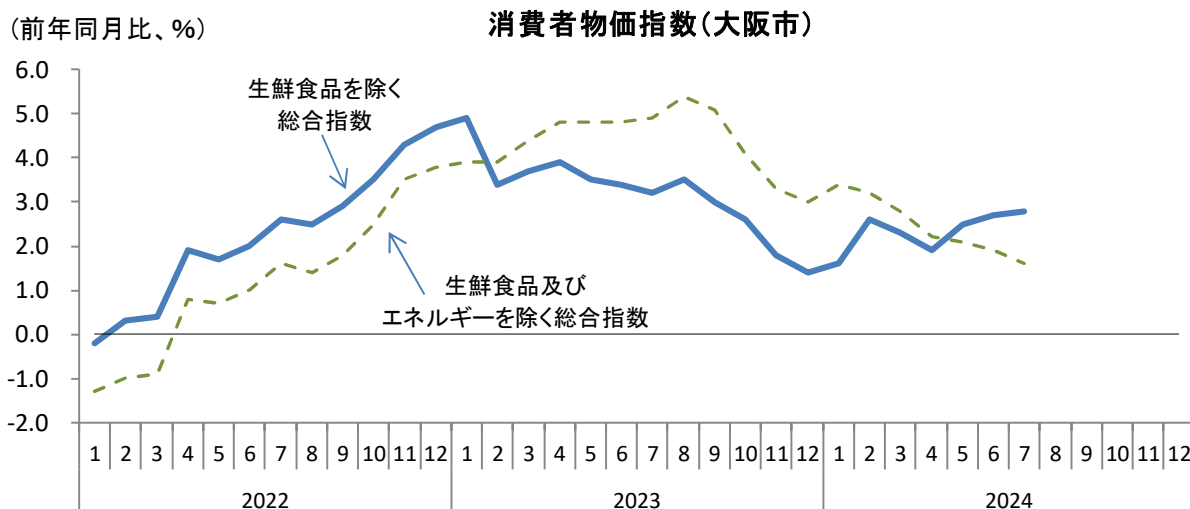


(資料)大阪府統計課「大阪の賃金、労働時間及び雇用の動き」、厚生労働省「毎月勤労統計調査」
※事業所規模5人以上、前年同月比は名目賃金指数(2020年=100)による。

		24年5月	6月	7月
現金給与総額(円)	大阪府	301,097	519,154	
前年比 (%)	大阪府	2.9	5.8	
	全国	2.0	4.5	

[その他] 物価

○消費者物価指数【大阪市の生鮮食品を除く総合指数は 30 ヶ月連続の上昇。「食料」「光熱・水道」などが上昇。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数は 28 ヶ月連続の上昇。】



(資料)大阪府統計課「大阪市消費者物価指数」、総務省「消費者物価指数」

※2020年=100。

総合指数

		24年5月	6月	7月
指数	大阪市	107.8	107.9	P 108.4
前年比 (%)	大阪市	2.7	3.0	P 2.9
	全国	2.8	2.8	2.8

生鮮食品を除く総合指数

		24年5月	6月	7月
指数	大阪市	107.2	107.4	P 108.1
前年比 (%)	大阪市	2.5	2.7	P 2.8
	全国	2.5	2.6	2.7

生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数

		24年5月	6月	7月
指数	大阪市	107.0	106.9	P 107.4
前年比 (%)	大阪市	2.1	1.9	P 1.6
	全国	2.1	2.2	1.9

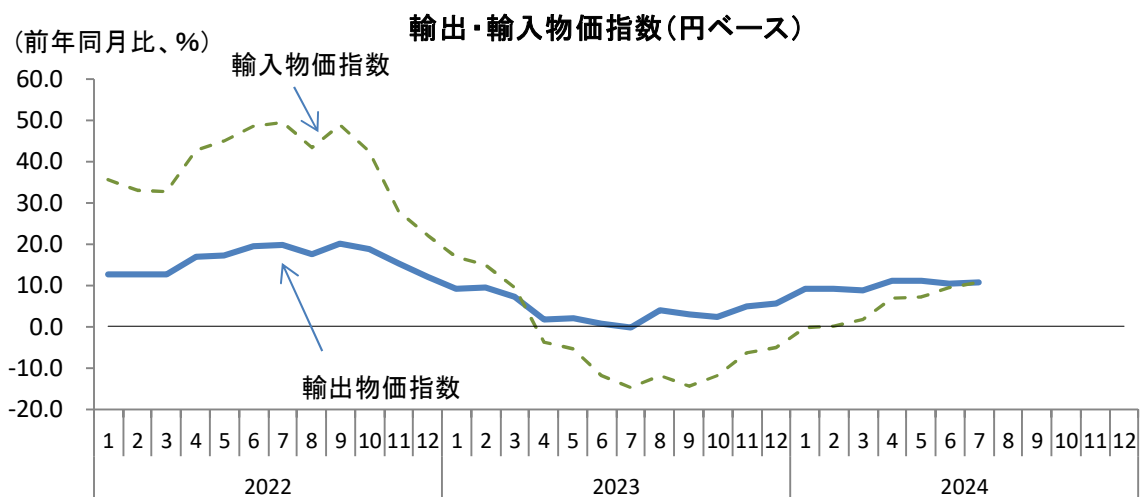
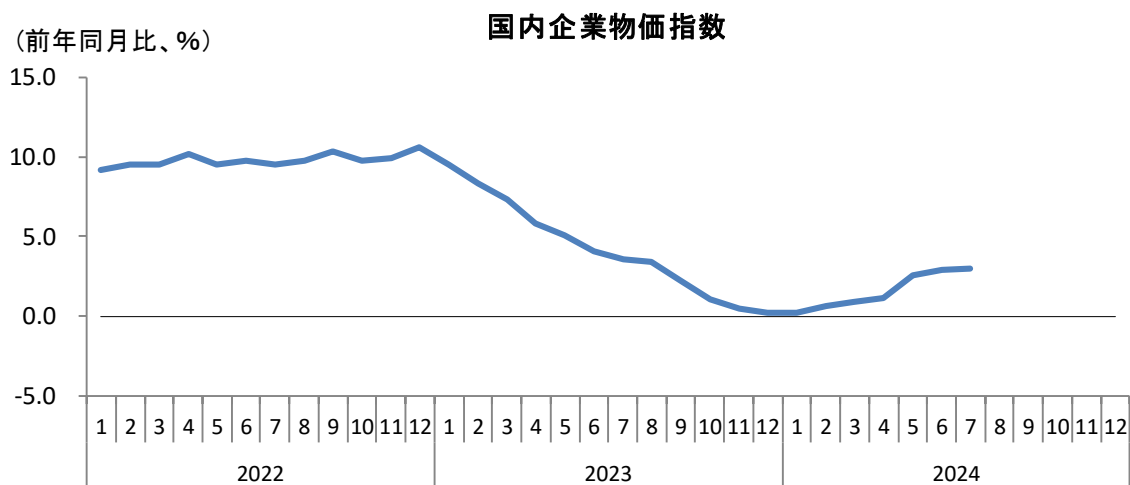
総合指数において主に変動した分類

(大阪市、前年同月比(%)、寄与度順、7月速報)

上昇	光熱・水道(18.9):電気代(電気代)、ガス代(都市ガス代)
	食料(2.2):菓子類(せんべい、ポテトチップス、ケーキ)、外食(焼肉(外食)、中華そば(外食)、フライドチキン(外食))
低下	—

[その他] 物価

○企業物価指数【国内企業物価指数は上昇。】



(資料) 日本銀行「企業物価指数」

※輸出・輸入物価指数は円ベース。2020年=100。

企業物価指数

	24年5月	6月	7月
国内企業物価指数	122.4	122.7	P 123.1
輸出物価指数	143.3	144.6	P 144.9
輸入物価指数	171.4	172.4	P 173.3

※輸出物価指数、輸入物価指数は円ベース。2020年=100。

国内企業物価指数の前月比変化に寄与した 主な類別・品目(7月速報、寄与度(%))

上昇	電力・都市ガス・水道 (0.28) : 事業用電力、都市ガス
	農林水産物 (0.05) : 精米、豚肉、鶏卵
低下	石油・石炭製品 (▲0.10) : ガソリン、石炭コークス、軽油